

労働者災害補償保険関係成立証明書

労働保険番号	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">府</td> <td style="width: 5%;">県</td> <td style="width: 5%;">所</td> <td style="width: 5%;">掌</td> <td style="width: 5%;">管</td> <td style="width: 5%;">轄</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">基幹番号</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">枝番号</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center; background-color: yellow;">労災保険番号を記載</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	府	県	所	掌	管	轄	基幹番号				枝番号																	労災保険番号を記載													
府	県	所	掌	管	轄	基幹番号				枝番号																																
労災保険番号を記載																																										
工事（業務）名	旭川市〇〇新築機械設備工事																																									
工事場所 (業務の場合は不要)	旭川市〇条通〇丁目																																									
保険加入者 (工事請負人等)	住 所 旭川市〇条通〇丁目 氏 名 〇〇株式会社																																									
労働基準監督署 証 明 欄	上記工事等に係る労働災害補償保険の関係は成立済みである。 (証 明 印) <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 印 <div style="background-color: yellow; padding: 2px 10px;">受理済を押印</div> </div>																																									

工事工程表

契約工期を記入

平成〇〇年〇〇月〇〇日から

工期

平成〇〇年〇〇月〇〇日まで

工事名 旭川市〇〇新築工事

工期	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
工種	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20				
1. 仮設工事																		
2. 配管工事																		
3. 器具取付工事																		
4. 保温工事																		
5. 塗装工事																		
6. 屋外附帯工事																		
7. 雑工事																		
8. 後片付清掃																		
9. 試運転調整																		
平成〇〇年〇〇月〇〇日											課長		課長補佐		係長		工事監督員	
(あて先) 旭川市長											主管課							
請負人 住所 旭川市〇条〇丁目											契約日を記入							
〇〇株式会社											仮設工事以外は、盆、正月等の長期休暇は日数参入しない。							
氏名 代表取締役 〇〇 〇〇											印							

※ 変更する場合は、「工事工程表」の次に「(変更)」の文字を記入し、朱線で変更前の工程を、黒線で変更後の工程を表示すること。

現場代理人及び主任技術者等指定通知書

工事名	旭川市〇〇新築機械設備工事
-----	---------------

上記建設工事に係る現場代理人及び主任技術者を次のとおり定めたので通知いたします。

区分	氏名	資格	備考
現場代理人	〇〇 〇〇	二級管工事施工管理技士	〇〇〇〇〇〇〇〇
			資格証の番号を記入
主任技術者	〇〇 〇〇	一級管工事施工管理技士	〇〇〇〇〇〇〇〇
監理技術者	〇〇 〇〇	一級管工事施工管理技士	〇〇〇〇〇〇〇〇
専門技術者	JVの場合、全ての構成員から主任技術者の選出が必要		
	下請契約の請負代金が 建築は4,500万円 電気・機械は3,000万円以上 の場合、必要		

なお、経歴は別紙経歴書のとおりです。

(あて先) 旭 川 市 長

契約日を記入

平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

住所 旭川市〇条〇丁目

請負人

氏名 〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

印

現場代理人及び主任技術者(兼任)の場合は、雇用関係を確認できる書類(1)の写しを添付する。
主任技術者(専任)については3ヶ月以上の直接雇用を確認できる書類(1)の写しを添付する。
(1) 以下(1)~(3)のうちいずれか一つ
(1)監理技術者資格者証
(2)健康保険被保険者証書
(3)雇用保険被保険者資格取得等確認通知書
詳細については監督員に確認願います。

	課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員
主管課				

- 注1 現場代理人、監理技術者、主任技術者、専門技術者別に記載すること。
2 専門技術者の場合は、その工事種別を「備考」欄に()書きすること。

経 歴 書

住 所	旭川市〇条〇丁目		
氏 名	〇〇 〇〇	生年月日	明・大・ 昭 〇〇年 〇〇月 〇〇日
最終学歴	旭川〇〇高等学校		
職 歴	しゅん功年月を記入する		
1	(昭和 ・平成) 〇〇年 〇〇月	〇〇株式会社	入社
2	(昭和・平成) 年 月		入社
3	(昭和・平成) 年 月		入社
4	(昭和・平成) 年 月		入社
5	(昭和・ 平成) 年 月	〇〇〇株式会社	入社現在に至る。
工事経歴			
1	(昭和・ 平成) 〇〇年 〇〇月	旭川市〇〇新築機械設備工事 (現場代理人)	
2	(昭和・ 平成) 〇〇年 〇〇月	道立〇〇新築機械設備工事 (主任技術者)	
3	(昭和・平成) 年 月		
4	(昭和・平成) 年 月		
5	(昭和・平成) 年 月		
経験年数	〇〇年 〇〇月 (15日未満は切り捨て、15日以上は1か月とする。)		
免 許			
名称	一級管工事施工管理技士		
登録番号	〇〇〇〇〇〇〇〇		号
登録年月日	(昭和・ 平成)	〇〇年 〇〇月	〇〇日

上記のとおり相違ありません。

(本 人) 〇〇 〇〇

印

下 請 負 人 選 定 通 知 書

変更・追加があった場合は、(変更)もしくは(追加)とし、その都度提出すること

工事名 旭川市〇〇新築機械設備工事

上記建設工事について、その一部を施工する下請負人を次のとおり選定したので通知します。

工 事 種 別	下 請 負 人		建設業許可業種 及び許可番号	下請代金の 割 合	備 考
	住 所	氏 名			
配管工事	旭川市〇条〇丁目	〇〇設備株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	知事 管工事業 般-20上第〇〇号	15.0 %	※選定しない場合は「該当なし」と記載し提出のこと。
保温工事	旭川市〇条〇丁目	〇〇保温株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	大臣 熱絶縁工事業 般-21上第〇〇号	8.5 %	

建設業法に関係の無いものは不要
(廃棄物, 誘導員, 水質分析等)

割合については下請契約金額との整合性を図る

期限切れに注意。

注 下請負人名は、その業者に下請負させる工事種別ごとに記入すること。

平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

(あて先) 旭川市長

請負人 住所 旭川市〇条〇丁目

氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

印

契約日を記入
変更・追加の場合はその事由が発生した日

主 管 課	課長	課長補佐	係長・主査	監督員

工 事 対 応 連 絡 簿

工 事 名 旭川市 新築機械設備工事

請負業者名 共同企業体
代表者 住 所 旭川市 条 丁目
氏 名 株式会社
代表取締役
電話番号 0166-00-0000

緊急連絡 1 (株式会社)
住 所 旭川市 条 丁目
氏 名
電話番号 0166-00-0000(自宅)
090-0000-0000(携帯)

緊急連絡 2 (株式会社)
住 所 旭川市 条 丁目
氏 名
電話番号 0166-00-0000(自宅)
090-0000-0000(携帯)

現場事務所
住 所 旭川市 条 丁目
氏 名
電話番号 0166-00-0000

年間契約等を締結している場合にはその
証書の写しと保険会社の付保証明書を添
付すること

火災保険等付保通知書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

保険証の発行日以降

(あて先) 旭川市長

請負人

住所 旭川市〇条〇丁目

氏名 〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

印

工事名 旭川市〇〇新築機械設備工事

上記工事に関して、次のとおり保険契約を締結したので、通知します。

始期・・・保険の目的物が工事現場に搬入される日
終期・・・しゅん工期限+14日以上

保険の種類	保険会社名	保険期間	保険金	備考
組立保険	〇〇保険(株)	H00.00.00～ H00.00.00	¥0,000,000	

保険金は、請負金額(消費税含)以上とする

注 この通知書には、当該保険契約に係わる証書の写しを添付して下さい。

課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員
----	------	-------	-------

課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員

平成〇〇年〇〇月〇〇日

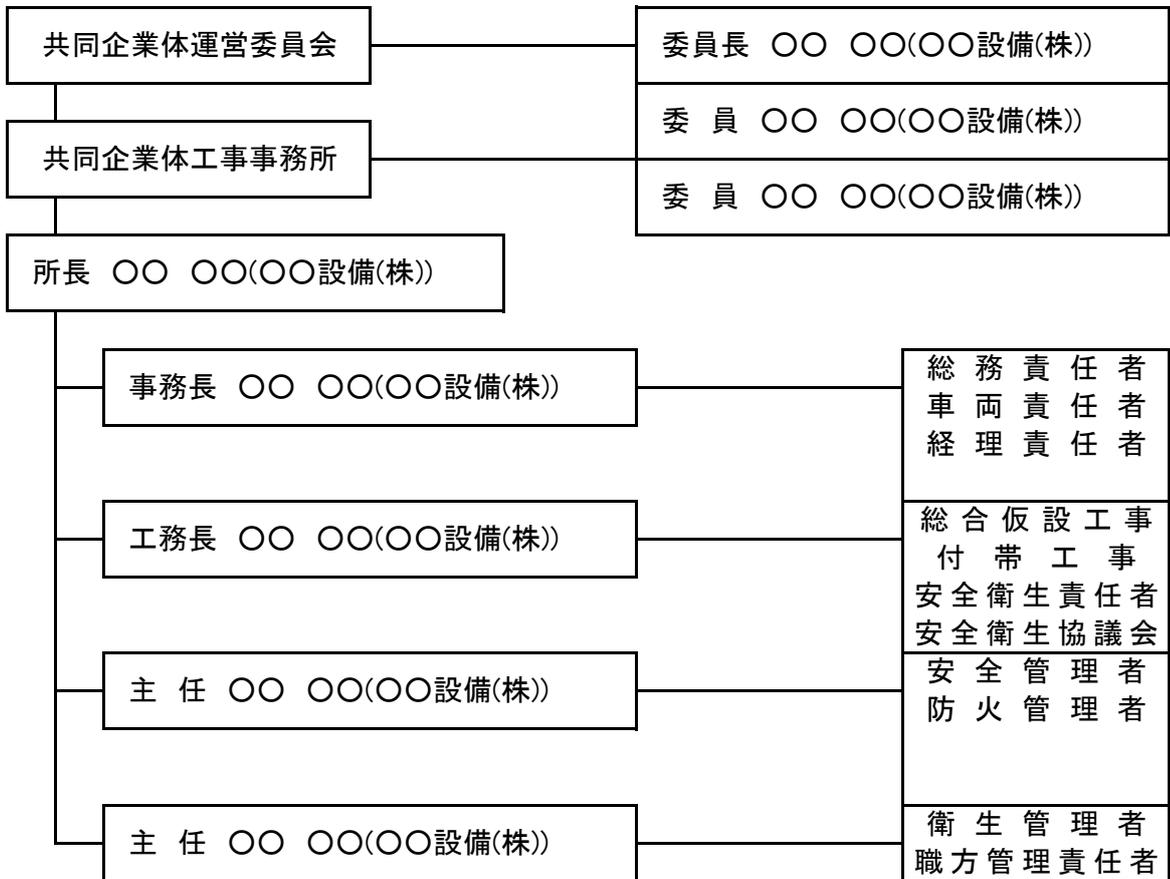
提出日は、第1回運営委員会開催日以降の日付とする。

(あて先) 旭川市長

請負人 〇〇・〇〇・〇〇共同企業体
 代表者 旭川市〇条〇丁目
 〇〇設備株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇 印

共同企業体編成表

工事名 旭川市〇〇新築機械設備工事



共同企業体運営計画協議結果報告書

運営委員会日程	協議事項 (決定事項)
<p>第 回運営委員会 年 月 日 於 会議室</p>	<p>出席者 , (設備株式会社) , (設備株式会社) (設備株式会社)</p> <p>1. 構成員の出費の割合</p> <p>設備 株式会社 00,000,000 × 50%=00,000,000 (内消費税 0,000,000)</p> <p>設備 株式会社 00,000,000 × 30%=00,000,000 (内消費税 000,000)</p> <p>設備 株式会社 00,000,000 × 20%=00,000,000 (内消費税 000,000)</p> <p>2. 共同企業体運営委員会の構成メンバー 別紙共同企業体編表のとおり</p> <p>3. 運営委員会事務局所在地 旭川市 条 丁目 番地</p> <p>4. 運営委員会開催日 必要に応じて開催する</p> <p>5. 契約日及び工期の確認 契約 平成00年00月00日 工期 平成00年00月00日 ~ 平成00年00月00日</p> <p>6. 作業所の名称 旭川市 新築機械設備工事作業所</p> <p>7. 作業所の所在地 旭川市 条 丁目</p>

8. 作業所の組織及び出向社員等

別紙共同企業体編成表のとおり

9. 出向社員の給料他

各社負担

10. 全休日及び宿直，日直の有無

現場の進捗状況にあわせて決定する

11. 作業所における服装等

各社の服装とする

12. 実行予算作成期限

平成00年00月00日

13. 取引銀行の決定

銀行 支店

14. 災害防止協議会の設置

建築工事に準ずる

15. 各種保険

火災・建退共・労災保険をJVで加入する

16. 協力業者の決定

提出済下請選定通知書のとおり

17. 工事用機械の準備責任者

18. . . . 共同企業体運営委員会規則

(目的)

第1条 当共同企業体は、建設事業を共同連帯して営むことを目的とする。

(名称)

第2条

- ・
- ・
- ・
- ・

19. 施工委員会の開催

(目的)

第1条

- ・
- ・
- ・
- ・

20. 経理取扱い規則

(目的)

第1条

- ・
- ・
- ・
- ・

21. 共同企業体解散後のかし担保責任の覚書きについて

- 1) かし担保期間中は、代表会社である 設備株式会社が責任を持って行う。
- 2) 竣工後1年間の担保期間終了に伴う検査及び報告を持って終了する。

22. その他

再資源化等に要する経費等《設計用》

本工事が、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第9条第1項に規定する対象建設工事である場合に記入する。

1 分別解体等の方法

(注) 以下の(1), (2), (3)のうち該当する工事にしを付した上、その「工程ごとの作業内容及び解体方法」欄に該当するものにしを付すこと。

□(1) 建築物に係る解体工事

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	① 建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ()
	② 屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ()
	③ 外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④ 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤ その他 (機械基礎)	その他の取り壊し <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

□(2) 建築物に係る新築工事等

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	① 造成等	造成等の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	② 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③ 上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④ 屋根	屋根の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤ 建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥ その他 ()	その他の取り壊し <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

□(3) 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	① 仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥ その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

2 解体工事に要する費用

0,000,000円(税抜き)

(注) 解体工事に伴う分別解体及び積み込みに要する費用とする。仮設費及び運搬費は含まない。

3 再資源化等をするための施設の名称及び所在地

(注) 以下の特定建設資材廃棄物の該当するものにしを付す。

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート	〇〇センター	旭川市〇〇
<input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材		
<input checked="" type="checkbox"/> 木材	〇〇センター	旭川市〇〇
<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート		

4 再資源化等に要する費用

0,000,000円(税抜き)

(注) 運搬費を含む。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

提出日を記入
施工前に提出すること
各書類との日付の整合性を図ること

旭川市長

請負人 〇〇工業株式会社
住所 旭川市豊岡4条1丁目
氏名 代表取締役 北野 大地 印

総合施工計画書

工事名 旭川市〇〇センター新築機械設備工事

課長	課長補佐	係長・主査	監督員

目 次

1	工事概要	1
2	安全施工事前確認報告書	2
3	現場組織表	3
	施工体制台帳・下請負契約書	
	施工体系図・安全衛生協議会組織図	
4	緊急連絡表	
5	総合安全計画	
	(1) 安全衛生管理組織図	
	(2) 安全計画	
6	総合仮設計画	
7	社内検査員の事前報告	
8	廃棄物処理計画	
9	再生資源利用計画	
	再生資源利用計画書	
	再生資源利用促進計画書	
10	工事施工に関する有資格者名簿	
11	仕様書等	
12	全体実施工程表と安全計画表	
13	品質管理	

1 工事概要

(1) 工事名 ; 旭川市 センター新築機械設備工事

(2) 工事場所 ; 旭川市 条 丁目

(3) 工期 ; 自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日 契約工期を記入

(4) 建物概要 ; コンクリート造 3階建 延面積 m²
旭川市 センター新築に伴う機械設備工事一式
発注図面の「工事概要」欄に記載されている内容とする

(5) 設計者 ;
・ _____ 設計事務所
・ _____ 共同企業体
旭川市都市建築部設備課

(6) 施工監理者 ;
・ _____ 設計事務所
・ _____ 共同企業体
旭川市都市建築部設備課
・ _____

(7) 施工者 ; 請負人 _____ 工業株式会社

(8) 工事内容 ; 工種は次のとおりである。 請負工事の該当する工種を記入

1 . 給水設備	7 . 換気設備
2 . 排水設備	8 . 消火設備
3 . 給湯設備	9
4 . ガス設備	1 0
5 . 暖房設備	1 1
6 . 給油設備	1 2

2 安全施工事前確認報告書

月 日	事前確認事項	関係機関	協議概要または提出書類等
/ 確認した月日 を記入	労働災害防止	旭川労働基準監督署	労災保険概算保険料報告書の受理済証明
/	架空送電線 電力ケーブル	北海道電力旭川支店 営業部配電課	
/	埋設ガス管等	旭川ガス 供給課	なし
/	埋設水道管等	旭川市水道局 事業部水道維持課	水道施設が埋設されているので十分注意して作業すること。(給水設備)
/	埋設下水道管等	旭川市水道局 事業部下水道整備課	下水道施設はありません
/	NTT 地下埋設物	NTT - ME 旭川支店	なし
/	公害 (杭打・夜間作業等)	旭川市環境部 環境課環境対策係	該当無し
/	施設管理者打合せ	施設管理者	センター 係長 着工前に打合せ
/			必ずしも相手方の押印は 必要としない
/			
/	同一敷地内又は構内において、同時に複数の 工事が行われ、各請負人において同様な確認 が必要な場合は、いずれか確認した者の写し を添付することでも可能		
/			
/			

上記のとおり確認をしましたので報告します。

なお、未確認事項につきましては、その工程の着手前に再度確認し、報告します。

3 現場組織表

請負人； ○○工業株式会社

	氏 名	所属会社名
・ 監理技術者		
・ 主任技術者	木村 大介	○○工業株式会社
・ 現場代理人	木村 大介	○○工業株式会社
・		(担当)
		(担当)
		(担当)

工事種別	下請業者		
	住 所・電話番号	会社名	責任者名
・ 塗装工事	旭川市末広〇条〇丁目 0166-20-XXXX	○○塗装有限会社	本田 宗次郎
・ 保温工事	旭川市永山〇条〇丁目 0166-50-XXXX	○○設備株式会社	佐々木 肇
・ 電気工事	旭川市東旭川北〇条〇丁目 0166-35-XXXX	○○電気株式会社	池田 嘉郎
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
・			

これは参考例なので必要な工事種別のみを記入すること。
 施工体制台帳，施工体系図については，別紙参照。



施工体制台帳

提出日とする

〔会社名〕 〇〇株式会社 JVの場合は各構成員毎に作成

〔事業所名〕 旭川市〇〇新築機械設備工事事業所

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	管 工事業	大臣 特定 (22-上) 第 〇〇〇号 知事 一般 () 第 号	平成〇〇年〇〇月〇〇日 年 月 日

許可期間の初日とする

工事名称及び工事内容	旭川市〇〇新築機械設備工事 鉄筋コンクリート造 地上〇階延床面積〇〇m2の新築に伴う機械設備工事一式		
発注者名及び住所	旭川市長 〇〇 〇〇 旭川市6条通9丁目 〒070-8525		
工期	自	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日	契約日 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日
	至	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日	

発注図面の「工事概要」の内容を記入

契約書と同内容とする

元請と下請の契約内容を記入

契約業所	区分	名称	住所
	元請契約	〇〇株式会社	旭川市〇条〇丁目
	下請契約	下請契約欄は記入不要	

請負業者名・住所を記入
JVの場合は「JV代表者 設備(株)」とし、住所欄には代表者の住所を記入

発注者の監督員名	〇〇 〇〇	権限及び意見申出方法	文書による
----------	-------	------------	-------

監理・主任のどちらかに印

監督員名	/		
現場代理人名	〇〇 〇〇	権限及び意見申出方法	文書による
監理・主任技術者名	専任 〇〇 〇〇 非専任	資格内容	一級管工事施工管理技士
専門技術者名	専門技術者が必要名場合は記入	専門技術者名	
資格内容		資格内容	
担当工事内容		担当工事内容	

- (記入要領)
- この様式は元請が作成し、一次下請負者を通じて報告される再下請負通知書を添付することにより、一次下請負者別の施工体制台帳として利用する。
 - 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載してある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
 - 監理技術者の配置状況について「専任・非専任」のいずれかに〇印を付けること。
 - 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。
(監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
 - 監理技術者及び専門技術者について次のものを添付すること。
①資格を証するものの写し ②自社従業員である証明書類の写し(従業員証、健康保険証など)

再下請がある場合も提出する
その場合の様式は、この様式と同様なものもしくは「建設業法・雇用改善法等に基づく届出書(再下請負通知書様式)」とする

《下請負人に関する事項》

会社名	〇〇設備株式会社	代表者名	〇〇 〇〇
住所	〒000-0000 旭川市〇条〇丁目 (Tel 0166 - 00 - 0000)		
工事名称及び工事内容	旭川市〇〇新築機械設備工事 屋内給水工事		
工期	自 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日 至 平成〇〇年 〇〇月 〇〇日	契約日	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日

工事名及び下請負人が担当する工事の内容を記入

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	管 工事業	大臣 特定 (21-上) 第 000号 知事 一般 () 第 号	平成〇〇年〇〇月〇〇日 年 月 日

現場代理人名	〇〇 〇〇	安全衛生責任者名	〇〇 〇〇
権限及び意見申出方法	文書による	安全衛生推進者名	常時使用する作業員が10人以上50人未満の事業所の場合記入(下請の代理人等)
主任技術者名	専任 〇〇 〇〇 非専任	雇用管理責任者名	〇〇 〇〇 下請事業主が任命する人
資格内容	一級管工事施工管理技士	専門技術者名	資格内容 専門技術者が必要名場合は記入
		担当工事内容	

下請の代理人

下請の代理人等

下請の主任技術者

元請(JV構成員も含む)、下請、再下請等作成した台帳毎に以下の書類を添付すること
(1)請書(写)
(2)建設業許可証(写)
(3)建退協加入証(写)
その他退職者制度の加入状況が確認できる書類

※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]

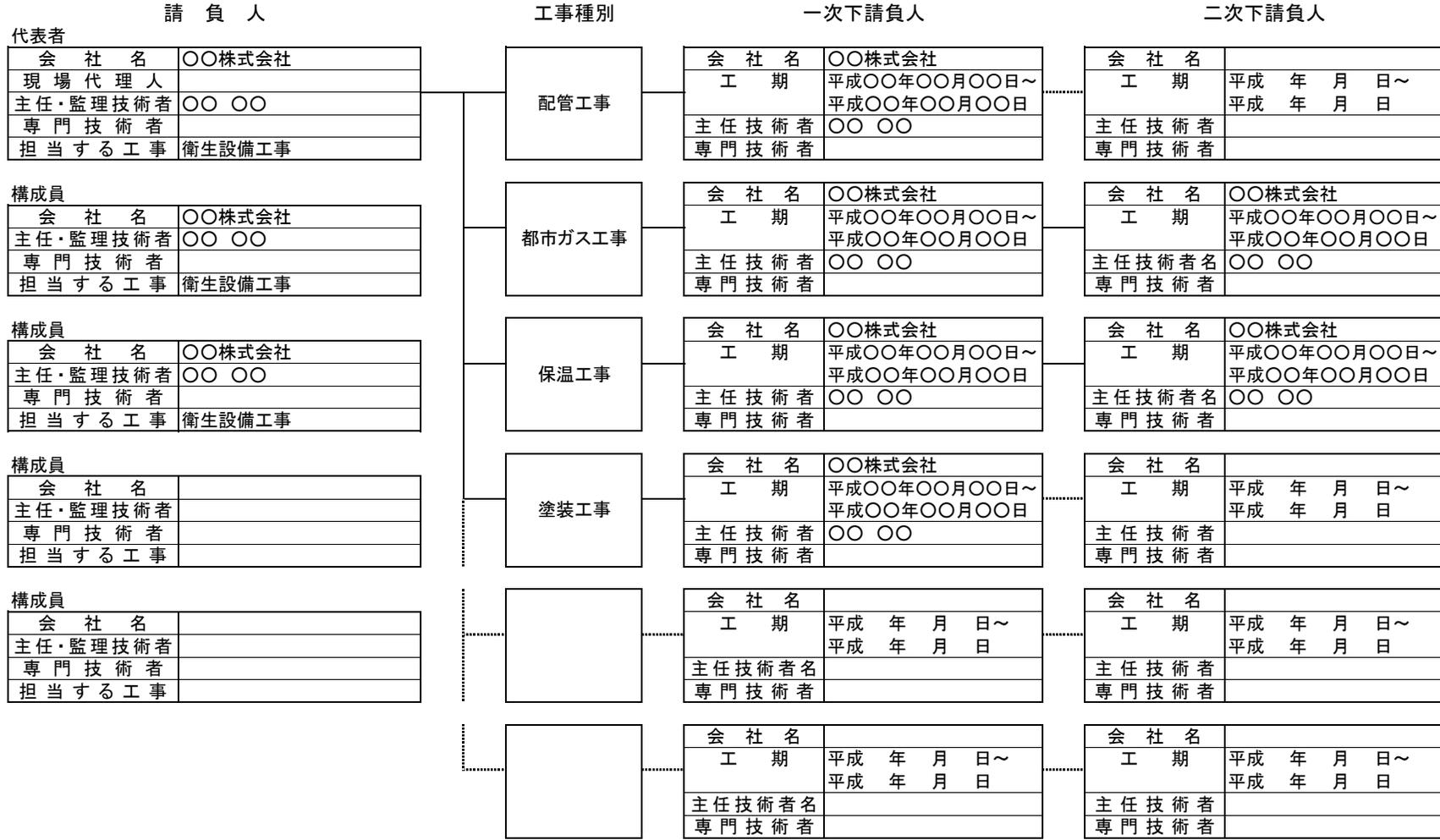
- 主任技術者の配属状況について「専任・非専任」のいずれかに〇印を付けること。
- 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
- 主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記入すること。)
①経験年数による場合
1) 大学卒 [指定学科] 3年以上の実務経験
2) 高校卒 [指定学科] 5年以上の実務経験
3) その他
②資格等による場合
1) 建設業法「技術検定」
2) 建築士法「建築士試験」
3) 技術士法「技術士試験」
4) 電気工事士法「電気工事士試験」
5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
6) 消防法「消防設備士試験」

施 工 体 系 図

記載事項については、下請負人選定通知書、施工体制台帳、請書等と整合性を図ること

工事名： 旭川市〇〇新築機械設備工事

工 期： 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日

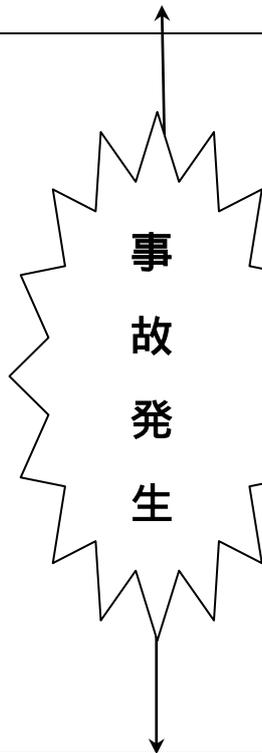


4 緊急連絡表

全ての工事関係者に周知し，見やすい場所に掲示しておくこと

請負人の会社への連絡	
会社名・氏名	電話番号
工業株式会社 代表取締役 北野 大地	0166-33-XXXX
工業株式会社 現場代理人	0166-33-XXXX

救急指定病院名・電話番号	
大雪病院	0166-25-XXXX



統括安全衛生責任者への連絡	
会社名:	工業株式会社
氏名:	木村 大介
会社電話:	0166-33-XXXX
自宅電話:	0166-34-XXXX

施工監理者への連絡	
旭川市都市建築部設備課	電話: 0166-25-8590
監督員 佐藤 啓、山田 太郎	設計事務所
電話:	主任技術者名

下請負人・協力業者の連絡先	
会社名・氏名	電話番号
塗装有限会社 本田 宗次郎	0166-20-XXXX
設備株式会社 佐々木 肇	0166-50-XXXX
電気株式会社 池田 嘉郎	0166-35-XXXX

連絡すべき関連官庁等	
警察署	110
旭川中央署	0166-23-2151
消防署	119
旭川消防本部	0166-23-4556
旭川労働基準 監督署	0166-51-6101
旭川市水道局	0166-24-3161
旭川ガス	0166-23-4151
北電旭川支店	0166-23-1121
NTT旭川	0166-24-2800

5 総合安全計画

- ・ 工事現場全体（建築、電気、機械）の組織図添付

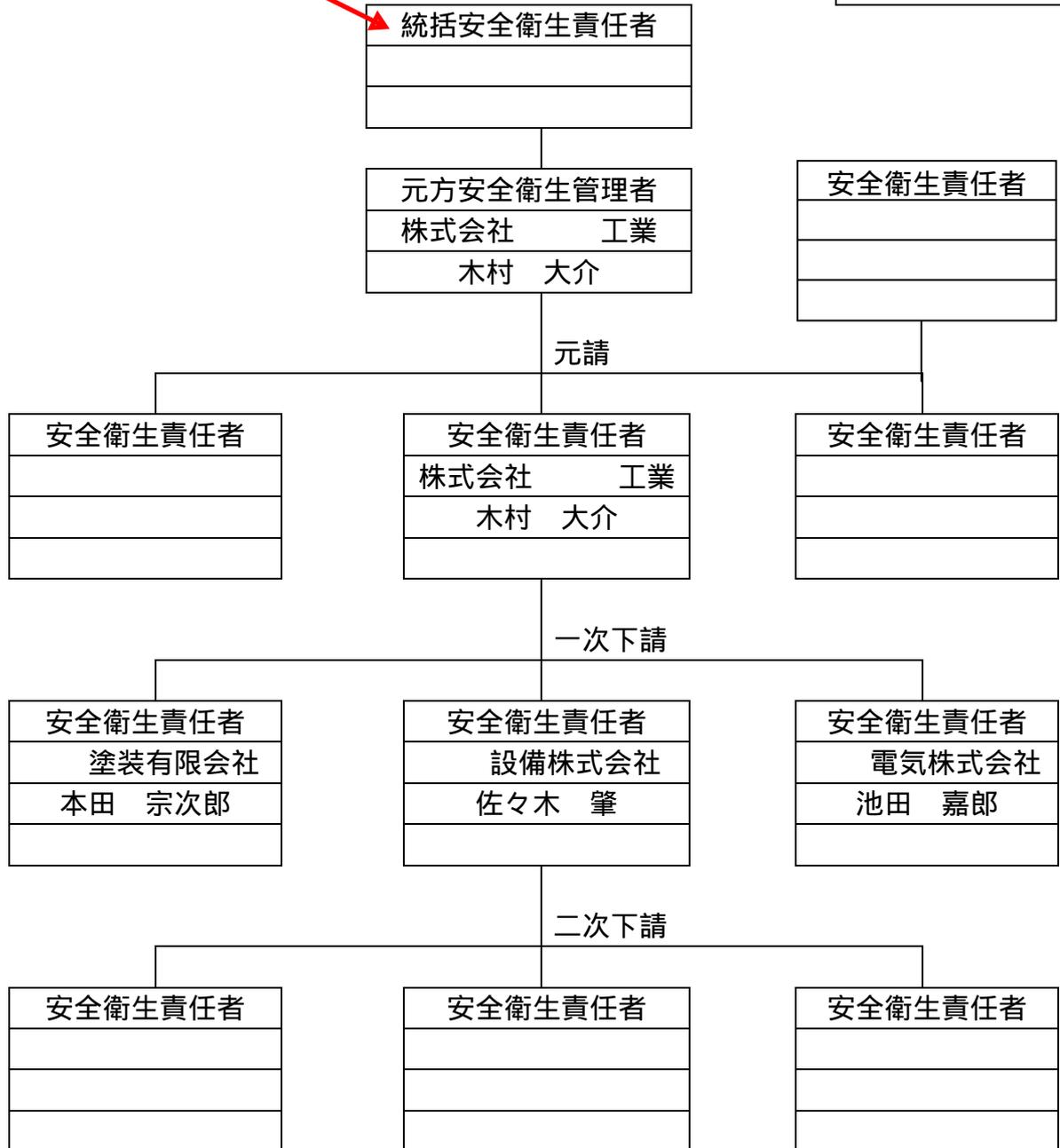
(1) 安全衛生管理組織図

当工事現場作業所における安全衛生管理体制は、次のとおりとする。

凡例

選任者
会社名
氏名

50人以上の労働者(元請・下請含む)がいる場合は必要



該当部分に 印を付ける
必要な部分については項目を追加する

(2) 安全計画

ア 安全対策

この計画書は、旭川市 _____ センター新築機械設備工事の(請負人) _____ 工業株式会社
における工事施工上の労働災害、公衆災害を積極的に防止し、全ての者の安全と健康を確保する
とともに、さらに快適な作業環境の実現を図ることを目的とする。

(ア) 重点事項

工事現場においては、常に整理整頓を行い、特に危険箇所の点検を行うなど事故の防止に努める。

工事施工に伴う、災害及び公害の防止は、関係法令などに従い適切に処理するとともに、特に下記事項について重点実施する。

- 第三者災害の絶無
- 墜落・落下災害の絶無
- 重機災害の防止(作業半径内の立入禁止)
- 火災災害の絶無
- 現場内の整理整頓の徹底
- 公害の防止
- 崩壊、倒壊災害の絶無

(イ) 管理の重点事項

- 交通安全の確保
- 付近住民に対する安全の確保
- 飛来落下災害の防止
- 根伐、掘削箇所の保護(・バリケード、・ロープ、ガードフェンス)
- 設備、機械、工具類の安全点検の実施
- 安全衛生教育の実施
- 不要資材の片付けの徹底
- 日常点検の実施
- 看板等の点検実施
- 建物管理者等との連絡・調整の徹底

(ウ) 安全作業打合せの実施

- 作業開始前のミーティングの実施
- 作業員の作業衣、健康状態の確認
- 作業内容、工程の打合せ
- 立入禁止場所の説明確認
- 資材等の整理整頓
- 作業終了後の片付け及び火元確認の徹底

(エ) 墜落（落下）・落下物の防止

- 安全通路及び作業通路の確保
- 作業用足場の計画的な安全配置とその保守管理の徹底
- 作業床端及び開口部等の養生施設の完備
- 足場組立及び解体時の安全対策の徹底（組立計画図の作成とそれに基づく作業主任者の作業直接指揮）
- 足場における材料及び荷等の取り込み時の安全処置の徹底
- 高所作業員は、技能、年齢及び疾患等を考慮し選考・指名
- 保護具の安全装着と正しい作業服装、保護帽の正しい着用、高所作業時の安全帯使用及び衣服・履物の整備の実施
- 脚立及びローリングタワーの正しい使用法の実施

・

(オ) 重機災害の防止

- 有資格者による作業実施（運転・玉掛け等）
- 始業点検の実施と報告
- 作業開始前の打合せと合図の統一
- 作業地盤の確認
- 作業半径の立ち入り禁止及び吊り荷の下の進入禁止の周知徹底

・

(カ) 防火管理の徹底

- 火気危険物の使用及び持ち込みに際しての事前報告の義務付け
- 火気使用箇所の火元責任者の選任
- 喫煙所を設置し、その場所以外での喫煙禁止
- 消火器等機器を確保し、その維持管理の徹底
- 火花の発生する作業の禁止

(キ) 機械工具の安全点検の実施

- 作業前点検を実施し、常に最良な状態で保存
- 酸素・アセチレンガスの機器接続の確認
- 手元工具類の損傷有無の確認

・

(ク) 電気災害の防止

- 電動工具は、持込機械使用許可基準に適合するものを使用
自主点検→届出→外観点検→許可書交付→始業点検→使用
- 電動工具アースの確認点検
- 電動工具の定期点検整備の実施
- 仮設電気配線及び設備の計画的な安全配線と保守点検の実施
- 仮設配電盤等の取扱責任者の選任とその者以外の取扱禁止

・

(ケ) 近隣住民及び児童生徒等に対する安全並びに注意事項

近隣住民、児童生徒等が現場内に入って来た場合は、速やかに現場内より出るように注意する。

現場が住宅地、学校及び保育園等に隣接していることから、車両の出入りには十分注意する。機器搬入時の重量車両等の進入時にも代理人が立会い、近隣住民や児童生徒に危険が及ばないように配慮する。

改修工事における工事内容と災害防止対策、火災予防方法、養生方法、工事車両の駐車位置、作業員リスト、作業場所、作業方法、作業時間等の詳細を記載した文書を作成し、施設管理者へ提出する。また、施設側と十分打合せを行ってから、作業に入るものとする。

施設側の連絡及び打合せ者； センター 係長 (TEL ; 00-0000)

作業後の工事場所の施錠は、木村 大介 が責任をもって実施する。特に、足場が組上がってからの窓の施錠確認を完全に行う。

イ 安全衛生活動

(ア) 安全衛生行事計画

朝礼 (毎日 8 時)

・ ラジオ体操の実施

当日の作業内容、人員、安全注意事項の報告

安全注意指示、資材搬入予定、レッカー作業予定の連絡

その他連絡、質問

定時打合せ (毎日 17 時)

進捗状況の報告

明日の予定と手配

安全衛生管理報告と指示

新規入場者受入時教育 (随時)

健康状態、安全及び連絡先等のアンケートの記入

一時的注意事項の伝達

現場規律事項の確認

工種毎の注意確認

その他質疑

・ 一斉清掃の実施 (毎週 1 回)

現場内外の清掃

・ 安全大会の開催 (毎月 1 回)

安全教育の実施

安全に関する講習会の実施

・ 安全に関する表彰の実施

安全衛生協議会の開催（毎月 1 回）

安全パトロールの実施

安全協議（今月の目標、行動計画）

安全週間、衛生週間の行事

1 週間に渡り、各日毎にメニューを作成し行事の実施

（イ）安全点検の方法

安全当番による点検及び日誌の作成（毎日）

職長による安全パトロール（毎週）

安全パトロール 共同企業体各社（毎月）

安全パトロール 安全協議会（毎月）

（ウ）安全指示方法及び作業方法の周知

受入教育時の説明、指示

会議、打合せ指示、指導事項の記録保持と会員への周知徹底

安全工程打合せへの確実参加

始業安全ミーティング励行と報告書による確認

安全指示書による指示を行い、文書による実施報告の受取

（エ）交通災害防止方法の周知

現場への通勤経路の指定

工事関係車両報告書等各種関係書類の作成提出

機会ある毎に交通安全の啓蒙活動実施

スピードダウンの励行 シートベルトの完全着用

現場内への進入、退出時の順路の厳守

週間安全目標設定による取り組み

現場出入口における徐行、一時停止、左右確認の完全実施

（オ）協力業者が実施する安全対策

雇入れ時の安全教育の実施

健康診断の実施と記録の管理

労働者名簿の管理と提出（下請及び運搬業者も含む）

始業前点検及び作業打合せの実施と指導

KY ミーティングの実施及び報告書の提出

作業終了時の清掃・片付けの実施

現場で実施する安全衛生行事への積極的参加

自主的安全パトロールの実施と指導及び点検表の提出

ウ 公害防止対策

(ア) 騒音対策

- 重機、騒音の発生する可能性のある作業は、9時00分～17時00分とする。
- 作業の残業制限時間は、原則として18時00分までとする。

・

(イ) 振動対策

- 振動がおきる可能性のある作業は、作業時間帯を 9時00分～17時00分とする。
- 機械・工具類は、極力低騒音、低振動型の物を使用する。

・

(ウ) 水質汚濁防止対策

- 根伐り時の排水は、放流前に沈砂槽を設ける。
- 油脂等の流出が考えられる場合は、油分離槽を設けるか、或いは専門業者に委託する。
- 放流先の施設に水質汚濁物質が流出した場合、回収・清掃を行う。

・

(エ) 大気汚染防止対策

- 残材、ゴミ等の焼却は行わず、適正に処理する。
- 有機溶剤等の多量流出事故を防ぐため管理者を選任し、十分な管理を行う。
- 事故発生を想定し、処理体制及び緊急連絡網を整備する。

・

(オ) 地盤沈下対策

- 地下水は、汲み上げない。
- 地下水を汲み上げる場合は、近隣の地下水利用状況を調査し、濁水対策を講じて行うものとする。
- 土留め設置期間は常に監視し、地盤の変化に注意する。
- 掘削時には地山の養生を行い、崩れを防止する。

・

(カ) 悪臭対策

- 残材、ゴミ等の焼却は行わない。
- 有機溶剤等の多量流出事故を防ぐため管理者を選任し、十分な管理を行う。

・

エ その他、本工事施工に関する安全計画

(ア) 酸欠対策

- 酸欠の恐れのある作業場所、作業内容の確認、点検。
- 測定器具、換気装置の整備。
- 作業前の測定、現場の表示及び測定結果記録。
- 各作業ごとに必要な有資格者の配置、現場作業員への教育、周知徹底。

6 総合仮設計画（仮設計画図添付）

仮設図は必ず添付すること

現場事務所は、5.0×8.0mの大きさのものを別図位置に設置する。

工事現場の別図位置に、工事標識、お願い標識、建設業許可票、労災保険関係成立票、建退共標識、施工体系図等を設置する。

配管等の作業所は、別図位置に2.0m×5.0mの大きさのものを設置する。

駐車場は、別図位置に5台分の広さを確保する。

現場事務所・作業所には、取扱責任者を選任して、災害防止を徹底する。

現場事務所・作業所には、次の物を用意する。

粉末消火器 3.0 kg 4本、 救急箱、
保護具（ 保安帽、 安全帯、 保護メガネ、 保護マスク、 安全靴、
手袋、 ・ ・ ）

機材の搬入路、現場への進入道路計画は、別図の通りとする。

重量物搬入の仮設計画は、別図の通りとする。

道路部分の掘削施工時の仮設計画及び交通誘導員等の配置計画は、別図の通りとする。

高所作業の仮設計画は、別図の通りとする。

7 社内検査員の事前報告

別紙「建築工事関係書類作成の手引き」の「3 工事検査時の書類」の「社内検査実施要領」に基づく検査員の選出報告

社内検査員を下記の通り指定した事を報告します。

・社内検査員	会社名	〇〇工業株式会社
	役職 氏名	代表取締役 北野 大地

※社内検査員は、当該工事の現場代理人・主任技術者以外で、課長職（又は、課長相当職）以上の職にあるものを原則とする。

添付書類 社内検査員の経歴書

経歴書様式は現場代理人及び主任技術者等指定通知書に添付するものと同じ

社内検査内容（検査項目、検査時期が記載されたチェックリスト等）

社内検査内容は特に洋式に定めなし
検査項目、検査時期が記載されていればOK

8 廃棄物処理計画

廃棄物の種類	搬出先処分場業者名	住所
	収集運搬業者名	住所
アスファルト塊	旭川廃棄物処理センター	旭川市江丹別町共和279-2
	自社運搬	旭川市豊岡条丁目
コンクリート塊	旭川廃棄物処理センター	旭川市江丹別町共和279-2
	自社運搬	旭川市豊岡条丁目
金属くず	旭川廃棄物処理センター	旭川市江丹別町共和279-2
	自社運搬	旭川市豊岡条丁目
廃プラスチック類	旭川廃棄物処理センター	旭川市江丹別町共和279-2
	自社運搬	旭川市豊岡条丁目
発生土	旭川廃棄物処理センター	旭川市江丹別町共和279-2
	自社運搬	旭川市豊岡条丁目

添付書類

- 1 建設廃棄物処理委託の契約書の写し
- 2 産業廃棄物処理場の許可証の写し
- 3 収集運搬業の許可証の写し
- 4 収集運搬に使用する車両の一覧表
- 5 収集運搬に使用する車両の車検証
- 6 工事現場から搬出先の処理場・処分場までの運搬経路を示す地図

運 搬 車 両 一 覧 表

No	車 両 番 号	最大積載量	車検証の有効期限	備考
1	旭川11つ	2,000kg	平成 年 月 日	
2	旭川11と	2,000kg	平成 年 月 日	
3	旭川11な	3,500kg	平成 年 月 日	
4	旭川11に	1,000kg	平成 年 月 日	
5	旭川40せ	1,000kg	平成 年 月 日	
6	旭川40ふ	500kg	平成 年 月 日	
7	旭川40ま	500kg	平成 年 月 日	
8				
9				

各車両の車検証のコピーを次に添付する。

9 再資源利用計画

「建設リサイクルデータ統合システム(CREDAS)に入力,出力した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を添付。

国土交通省のリサイクルホームページ[<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/index.htm>]を参照すること
建設リサイクルデータ統合システム(CREDASシステム)ダウンロードは以下を参照
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/fukusanbutsu/credas/download.htm>
CREDASシステムは最新版を使用すること

10 工事施工に関する有資格者名簿

免許・修了書名	氏名	会社名	免許番号・修了書番号
・ 指定建設業監理技術者			
○ 1級管工事施工管理技士	木村 大介	〇〇工業（株）	XXXXXXXXXX
○ 2級管工事施工管理技士	浅野 勇二	〇〇工業（株）	XXXXXXXXXX
・ 1級建築配管技能士			
○ 2級建築配管技能士	浅野 勇二	〇〇工業（株）	XXXXXXXXXX
・ 1級熱絶縁施工技能士			
○ 2級熱絶縁施工技能士	佐々木 肇	〇〇設備（株）	XXXXXXXXXX
・ 地山の掘削作業主任者			
・ 山留志保工作業主任者			
・ 玉掛け技能講習修了者			
・ ガス溶接技能講習修了者			
・ アーク溶接特別教育修了者			
○ 酸素欠乏等危険作業特別教育修了者	佐々木 肇	〇〇設備（株）	XXXXXXXXXX
・ 建築塗装1級技能士			
・ 建築塗装2級技能士			
・ 1級土木工事施工管理技士			
・ 2級土木工事施工管理技士			
○ 1級電気工事施工管理技士	池田 嘉郎	〇〇電気（株）	XXXXXXXXXX
○ 2級電気工事施工管理技士	石川 隼人	〇〇電気（株）	XXXXXXXXXX
○ 第1種電気工事士	池田 嘉郎	〇〇電気（株）	XXXXXXXXXX
○ 第2種電気工事士	鈴木 洋介	〇〇電気（株）	XXXXXXXXXX
・ 建築板金1級技能士			
・ 建築板金2級技能士			
・ 消防設備士（甲）			
・ ボイラ据付工事作業主任者			
・ ボイラ整備士			
○ 浄化槽設備士	木村 大介	〇〇工業（株）	XXXXXXXXXX
・ 液化石油ガス設備士			
・ ガス消費機器設置工事監督者			
○ 給水装置工事主任技術者	木村 大介	〇〇工業（株）	XXXXXXXXXX
・ 排水設備技術者			
・ 昇降機検査資格者			

ピット内作業等酸欠の恐れのある作業を行う場合は必ず選任すること

※ これは凡例であり、本工事で行う作業の資格を抽出して記入すること。
次に、資格証書のコピーを添付する。

1 1 仕様書等

基本的には、工事請負契約書により、設計図、公示用設計書（工事内訳書）、現場説明書、特記仕様書等により工事施工するが、これらに記載されていない事項については、下記の仕様書及び施工指針等による。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 | 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） |
| ○ | 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） |
| ○ | 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） |
| ○ | 機械設備工事監理指針 |
| ○ | 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） |
| ○ | 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） |
| ○ | 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） |
| ○ | 電気設備工事監理指針 |
| ○ | 工事写真の撮り方建築設備編 |
| ○ | 建築設備耐震設計・施工指針 |
| ○旭川市建築部公共建築課・設備課監修 | 旭川市建築工事標準詳細図 |
| ○ | 建築工事関係書類作成の手引き |
| ○ | 旭川市請負工事（建築・設備）監督要領同運用指針 |
| ○旭川空調衛生工事業協会 | 機械設備工事技術研修会資料 |
| ○旭川電気工事業協会 | 電気設備工事技術研修会資料 |

1 2 全体実施工程表と安全計画表

記載内容

工事工程

工種別施工計画書・施工図の提出時期

承諾図・諸官庁届出書類の提出時期

試験・検査のスケジュール

安全管理項目

請負人及び下請業者の会社から現場までの通勤経路を記した地図を添付する

1 3 品質管理

(1) 設計図書・工事関係図書の周知徹底

設計図書・工事関係図書の内容を周知徹底し、良質な品質管理を行うため、以下の事項を行う。

([] 内に名前を記入し、該当するものに をつける)

請負人に対して、[現場代理人 木村 大介]が責任を持って周知し、確認を行う。

下請業者に対して、[現場代理人 木村 大介]が責任を持って周知し、確認を行う。

- ・ 専門工事業者に対して、[]が責任を持って周知し、確認を行うと共に、
施工要領書・製作要領書・検査要領書を作成・提出させる。

(2) 工種別の施工計画書・施工図等の作成

以下の工種については、着手前に工種別施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けた上で施工を行う。
また専門工事業者に作成させた施工要領書等は、請負人が取りまとめて着手前に監督員の承諾を受ける。

(該当するものに をつける)

工種名	施工図の作成	専門工事業者による作成 ([] 内に作成させる業者名を 記入)	施工計画書の 提出時期
配管工事	有	有 []・無	H 年 月
ダクト工事	有	有 []・無	H 年 月
保温工事	無	有 []・無	H 年 月
塗装工事	無	有 []・無	H 年 月
機器据付工事	有	有 []・無	H 年 月
自動制御設備工事	有	有 []・無	H 年 月
・ ガス設備工事	有	有 []・無	
・ 試運転調整	無	有 []・無	
・ さく井設備工事	無	有 []・無	
・ 浄化槽設備工事	有	有 []・無	
・ 昇降機設備工事	有	有 []・無	
・ ヒーティング工事	有	有 []・無	
・			
・			
・			
・			
・			

工種別施工計画書の提出時期は、全体実施工程表に記入してもよい。

旭 川 市 長

請負人

住所 旭川市 6 条通 10 丁目

氏名 株式会社 設備

代表取締役

工 種 別 施 工 計 画 書

工事名 旭川市 機械設備工事

現場代理人

印

監理(主任)技術者

印

監督員

工種別施工計画書

提出日を記入
施工前に提出し、承諾を受けること

一般事項

1 . 検査.....	1
2 . 不適合時の措置.....	2
3 . 重点施工監理項目.....	2
4 . その他.....	2

配管、ダクト、保温、塗装、機器据付工事以外の工種等（都市ガス工事は除く）がある場合は、1～5の様式に準じて必要に応じて作成すること。

設計金額が500万円未満でも提出を求める場合は、
・低入札価格工事
・断水、停電を伴う工事
・アスベスト含有材撤去を行う工事等

1. 検査

品質管理検査責任者として、以下の者を選任する。(社内の専任者がいない場合、社内検査員・監理(主任)技術者を選任する。)

	品質管理検査責任者
会社名 役職・氏名	設備株式会社 工事部長
会社名 役職・氏名	設備株式会社 主任技術者
会社名 役職・氏名	品質管理責任者は現場代理人以外の者とする
会社名 役職・氏名	
会社名 役職・氏名	

以下の項目については、品質管理検査責任者による自主検査を行う。検査時には各項目が、設計図書、施工図、総合施工計画書、工種別施工計画書、工事施工協議簿、承諾図等に適合していることを確認する。検査終了時には、検査実施報告書を提出する。(該当するものに をつける)

	検査内容	検査時期
	(ポンプユニット)の受入検査	搬入時(平成 年 月中旬)
	(空調機)の受入検査	搬入時(平成 年 月中旬)
	(製作架台)の受入検査	搬入時(平成 年 月中旬)
	(屋外埋設給水管)の配管試験	各系統施工完了時(埋炭前)(月中旬 ~ 月下旬)
	(給油配管)の配管試験	同上(平成 年 月中旬)
	(室内温度制御)の試験	(平成 年 月中旬)
	(機器運転(振動,騒音))の試験	(平成 年 月中旬)
	(温度測定)の試験	(平成 年 月中旬)
	(風量測定)の試験	(平成 年 月中旬)
	()の試験	
	()の試験	
	工事関係書類検査	(平成 年 月中旬)
	全体試運転調整	全ての機器設置後(平成 年 月中旬)

2. 不適合時の措置

品質管理検査責任者による自主検査において、検査基準に不適合な項目があった場合は、速やかに対処するとともに、再発防止のためにその原因を除去する。また、特に品質に重大な影響を及ぼす可能性のあるものについては、監督員の承諾を得る。

不適合な項目に関係した手直し事項は、その状況を記録・撮影する。

3. 重点施工監理項目

以下の項目については、本工事で特に重点的に施工監理を行う。

重点施工監理項目	確認方法・時期
本項目は、特に自主的に重点的に取り組む事項、もしくは監督員から特に指示があった場合に記入すること	

4. その他 施工にあたってのその他特記事項等がある場合に記載する。

水道本管分岐時は、交通事故、第3者災害の防止に特に努め、仮囲い、交通誘導員の設置位置等については事前に監督員の承諾を得て施工する。

配管埋設ラインについては、他業者(電気・土木)と打合せを行い、確認後施工する。

停電を伴う作業を行う場合は、監督員及び施設管理者と十分に打合せを行い、事前に計画書を提出し、監督員の承諾を得た後に施工する。

断水を伴う作業を行う場合は、監督員及び施設管理者と十分に打合せを行い、事前に計画書を提出し、監督員の承諾を得た後に施工する。

工種別施工計画書

提出日を記入
施工前に提出し、承諾を受けること

1 . 配管工事

1 . 機材.....	1
2 . 工法.....	2
3 . 試験.....	5

2. 工法

本工事の着手にあたっては、以下の工法で施工を行い、請負人による確認を行うものとする。
(必要に応じて、施工要領書を添付する)

※記載内容 (配管工事)

各管種の接合方法

各管用途の識別方法

支持・固定方法

防火区画の貫通部の処理方法

屋外埋設配管の施工方法 (掘削巾・深さ等)

屋内露出部の配管方法

配管の勾配基準

VOC 対策

etc …

※ただし、公共建築工事標準仕様書等に基づいて
施工する場合は、その旨を明記し内容を簡略化す
ることができる

品質管理にかかわる以下の内容については、目視又は視触等による確認を行う。また撮影内容と範囲は以下のとおりとする。(該当するものに●をつける)

	確認する内容	写真の撮影範囲		
		最初の 一工程	全箇所	その他
●	管内の異物の除去・管端面の養生	●	○	○
●	配管の種別による勾配、勾配方向	●	○	○
○	クロス継手の使用範囲	○	○	○
●	排水管の合流方法、間接排水の要否	○	●	○
●	水抜き及び空気抜きの位置	○	●	○
●	スリーブ、箱入れの時期、材質、位置大きさ、補強の有無	○	●	○
●	インサートの位置、材質、埋込深さ、許容加重、くぎの切断	○	●	○
●	支持間隔、指示方法、振れ止め、固定、防振材の取付状況	○	○	●系統毎
○	支持受けの結露防止、銅管・ステンレス管と支持受けの間の絶縁、損傷防止	○	○	○
○	建物導入部、エキスパンジョイント部の可とう性の有無	○	○	○
●	伸縮継手の固定点の位置及び固定方法	●	○	○
●	絶縁継手の設置箇所、接続方法	●	○	○
●	異種管の接続箇所、接続方法	○	●	○
●	防火区画の貫通部の隙間の処理（モルタル又はロックウール保温材で埋める）	○	●	○
●	蒸気配管の勾配、支持、装置廻り	○	●	○
●	油配管の溶接部、継手	●	○	○
●	冷媒配管の溶接、脱気	●	○	○
●	給湯配管の材料、勾配	●	○	○
●	消火配管の規格	●	○	○
●	仕上状態、美観	○	●	○
○		○	○	○
○		○	○	○
○		○	○	○
○		○	○	○
○		○	○	○
○		○	○	○
○		○	○	○
○		○	○	○

3. 試験

以下の項目は試験を行い、試験圧の低下・漏れのないことを確認する。全ての施工箇所において試験状況を撮影し、また試験成績表を提出する。(該当するものに●をつける)

	項目		試験方法		試験時間・圧力
●	給水・給湯・排水 管	●	水圧試験	●	ポリエチレン管 1.1MPa×2分間
				○	水道直圧 1.75MPa×2分間
				○	ポンプ全揚程 () m×2倍 = () MPa×60分間
				○	0.75MPa×60分間
		○	空気圧試験	○	() MPa×10分間
●	冷温水管	●	水圧試験	●	最高使用圧 (0.5) MPa×1.5倍 = (0.75) MPa×30分間
				○	最小 0.75MPa×30分間
		○	空気圧試験	○	() MPa×10分間
●	油管	●	空気圧試験	●	最大常用圧 (0.02) MPa×1.5倍 = (0.03) MPa×30分間
●	蒸気管	●	水圧試験	●	最高使用圧 () MPa×2.0倍 = () MPa×30分間
				○	最小 0.2MPa×30分間
		○	空気圧試験	○	() MPa×10分間
○	冷媒管	○	気密試験	○	() MPa×()分間
●	消火管	●	水圧試験	○	ポンプ締切圧 () MPa×1.5倍 = () MPa×60分間
				○	送水圧力 () MPa×1.5倍 = () MPa×60分間
				○	送水圧力 最小 1.75MPa×60分間
		○	気密試験	○	粉末消火 最小 2.5MPa×10分間
●	排水管	●	満水試験	●	保持時間 30分
●	通気管	●	通水試験	●	保持時間 15分
○		○		○	
○		○		○	
○		○		○	
○		○		○	
○		○		○	
○		○		○	
○		○		○	

工種別施工計画書

提出日を記入
施工前に提出し、承諾を受けること

2 . ダクト工事

1 . 機材.....	1
2 . 工法.....	2

品質管理にかかわる以下の内容については、目視又は視触による確認を行う。また撮影内容と範囲は以下のとおりとする。(該当するものに をつける)

	確認する内容	写真の撮影範囲		
		最初の工程	全箇所	その他
一般事項	寸法、形状、板厚の確認			
"	内側半径、傾斜角度、案内羽根、整流板の有無			
"	多湿箇所の排気用風道のシール			
"	ボルト、ナットの締付け状態			
"	スポット溶接の状態			
"	スリーブ、箱入れの時期、材質、位置、大きさ(補強の有無)			各系統毎に2~3箇所
"	インサートの位置、材質、埋込深さ、許容荷重、くぎの切断			
"	吊り間隔、支持間隔、支持方法、振れ止め、固定防振材の取付状況、吊りボルトの本数			各系統毎に1箇所
"	防火区画の貫通部の確認(モルタル又はロックウール保温材で埋められていること)			消防提出用は協議による
アングルフランジ工法・コーナーボルト工法ダクト	ダクト折り返し部、四隅分のシールの確認、フランジの最大間隔			
	補強間隔、リブの有無、タイロッドの使用禁止、補強材の取付方法(リベット・溶接)			
スパイラルダクト	ビス本数、ダクト用テープ、シール材			ダクト接続、機器接続箇所それぞれ1箇所
フレキシブルダクト	曲げ状態(断面の確保)			
排煙ダクト	ダクト折り返し部、ガスケット、たわみ継手、不燃材料の認定書			
排気フード	吊りボルトの本数、間隔			代表箇所2~3箇所
吹出口、吸込口ボックス	内貼り材の規格及び施工順序			
チャンバー	点検口及び風量測定口の有無			
"	内貼り材の規格及び施工順序			

工種別施工計画書

提出日を記入
施工前に提出し、承諾を受けること

3 . 保温工事

1 . 機材.....	1
2 . 工法.....	2

2. 工法

本工事の着手にあたっては、以下の工法で施工を行い、請負人による確認を行うものとする。
(必要に応じて、施工要領書を添付する)

材料及び施工順序

配管用途	施工場所	材料（施工順序）	備考
給水	機械室露出	①GW 保温筒 (t=20mm) ②鉄線 ③原紙 ④ALGC	
給湯	屋内露出	①GW 保温板 (t=20mm) ②鉄線 ③原紙 ④綿布	色：白(壁面に合わせる)
換気（長方形ダクト）	屋内隠蔽	① 鋸 ② アルミガラスクロス化粧保温板 (t=25mm) ③ アルミガラスクロス粘着テープ	

※記載内容（保温工事）

保温・断熱の施工範囲
各施工箇所の材料、施工順序（上記表参考）
屋内露出部の外装(外装材・色等)
配管支持・固定部の保温方法
ヘッダー・タンク類の保温方法
VOC 対策

etc …

※ただし、公共建築工事標準仕様書等に基づいて施工する場合は、その旨を明記し内容を簡略化することができる

工種別施工計画書

提出日を記入
施工前に提出し、承諾を受けること

4 . 塗装工事

1 . 機材.....	1
2 . 工法.....	2

2. 工法

本工事の着手にあたっては、以下の工法で施工を行い、請負人による確認を行うものとする。
(必要に応じて、施工要領書を添付する)

材料及び施工順序

配管用途	施工場所	材料 (施工順序)・回数・色	備考
給水管 PB 上	機械室露出	下塗り 2 回、上塗り 1 回・グレー色	防露しない箇所のみ
基礎・床	機械室露出	下塗り 1 回、上塗り 1 回	

※記載内容 (塗装工事)

作業環境、養生方法

(いつ、どこで、どのくらい)

塗装の施工範囲

各施工箇所の材料、施工順序 (上記表参考)

色の識別

VOC 対策

etc …

※ただし、公共建築工事標準仕様書等に基づいて
施工する場合は、その旨を明記し内容を簡略化す
ることができる

工種別施工計画書

提出日を記入
施工前に提出し、承諾を受けること

5 . 機器据付工事

1 . 工法.....	1
2 . その他.....	6

1. 工法

本工事の着手にあたっては、以下の工法で施工を行い、請負人による確認を行うものとする。
(必要に応じて、施工要領書を添付する)

※記載内容（機器据付工事）

据付位置、搬入、検査、試験、保管、養生方法
コンクリート基礎、架台の施工要領
関連工事との取り合い
支持・固定方法 etc …

※ただし、公共建築工事標準仕様書等に基づいて施工する場合は、その旨を明記し内容を簡略化することができる

品質管理にかかわる以下の内容については、目視又は視触等による確認を行う。また撮影内容と範囲は以下のとおりとする。(該当するものに をつける)

項目	確認する内容	写真の撮影範囲		
		最初の工程	全箇所	その他
コンクリート基礎	位置、寸法の確認			
	配筋状況の確認			
	基礎ボルト、ストッパーの位置、寸法、材質			基礎ボルト、固定ボルト、ストッパー等については全箇所撮影すること 撮影対象が多い場合は監督員と協議以降共通
	防振材の有無			
	基礎据付面の水平度スポット溶接の状態			
	強度・スランプの確認			
	養生期間			
一般事項	位置、目地割り			
	関係法規に基づく空間・距離の確認 (ボイラーとサービスタンクの距離・受水槽の点検スペース等)			対象部分
	騒音・振動の測定、低減措置の確認			
	運転状態の記録、確認			
現場組立機器	組立方法、順序の確認			
ボイラー	据付位置、水平、垂直、離隔の有無・方法(計器による測定)			
	組立方法			
	基礎ボルト・固定ボルトの締付け状態			
	ボイラー内部の洗浄、清掃			
	付属品の取付状態			
	油・ガス管の配管支持			
	防油堤の寸法、形状、容量			
	バーナーの取付状態			
地震感知器の取付位置及び状態				
温風暖房機	取付位置、状態			

	煙道	支持間隔、支持方法（吊りボルト、ブラケット・受台）、振れ止め、固定支持金物（ローラ）			1基につき1箇所
		ばい煙濃度計の測定口、ばいじん量測定口、掃除口的位置			
		伸縮部及び壁貫通部の施工状態			1基につき1箇所
	温水発生機	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルト・固定ボルトの締付け状態			
		付属品の取付状態			
	チリングユニット・空気熱源ヒートポンプユニット・冷凍機・直だき吸収冷温水機	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルト・固定ボルトの締付け状態			
		付属品の取付状態			
	コージェネレーション装置	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルト・固定ボルトの締付け状態			
		付属品の取付状態			
	氷蓄熱ユニット	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルト・固定ボルトの締付け状態			
		付属品の取付状態			
	冷却塔	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルト・固定ボルトの締付け状態			
		離隔の確保（煙突、窓、ガラリとの距離）			対象部分
		付属品の取付状態			
	空気調和機（ユニット型、パッケージ型、ガスヒートポンプ型）	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルト・固定ボルトの締付け状態			
		防振装置の有無			
		排水トラップの取付状態（水封深さの確認）			
		付属品の取付状態			

	ファンコイルユニット	取付状態（壁との間隔、固定）			各室 1 台
		フィルターなどの引抜スペース			各室 1 台
	放熱器	取付状態（壁との間隔、固定）			各室 1 台
	送風機	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルトの締付け状態			
		防振装置の有無			
		ベルトの回転方向と張りしろの状態			
	ポンプ	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルトの締付け状態			
		防振装置の有無			
		付属品の取付状態			
	タンク	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルトの締付け状態			
		据付後の清掃、水洗い、洗浄			
		付属品（電極棒等）の取付状態			
		関係法規に基づく空間・距離の確認（ボイラーとサービスタンクの距離・受水槽の点検スペース等）			対象部分
	ヘッダー	据付（位置、水平、垂直）			
		基礎ボルトの締付け状態			
		付属品の取付状態			
	衛生器具	取付状態（水平、垂直、固定、補強）			
		接続管の状態（バリ等の除去）			
		水栓、洗浄弁等の取付状態			各箇所毎
	ガス湯沸器	取付状態（固定）			
		運転状態（点火の良否、燃焼状態）			試験状況写真
		安全装置の作動状態			試験状況写真

2 . その他

翌月5日までに監督員に提出する
工事請負額2,000万円以上の場合提出する

工事月報

(平成〇年〇月)

課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員

工事名	旭川市〇〇新築機械設備工事		各欄の内容については契約書他の内容と整合を図ること。
請負人	〇〇株式会社	現場代理人	〇〇 〇〇
主任技術者	〇〇 〇〇	主任技術者	主任技術者欄は必要に応じて監理技術者とする
請負額	0,000,000円	工期	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日

進捗状況

〇/〇～〇/〇	スリーブ図作成	週毎の工事の全般的な内容を簡潔に記入する 主要な作業種目、作業量及び主要資材の搬入量等を記入する
〇/〇～〇/〇	墨だし	
〇/〇～〇/〇	スリーブ設置	
/～/		

工事記録

〇/〇	スリーブ検査	立会検査、監督員の承諾事項及び主要機材の取付等を記入する
〇/〇	自社検査	

監督記事

監督員が記入する	
	進捗状況が確認できる簡単な写真を添付すること。 準備期間、書類作成期間等実質的な現場作業が無い場合等は不要。(監督員と協議)

工事進捗状況表

工事月報と共に提出する

工 種 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	月	月	進捗率
1. 仮設工事	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100			100
2. 資材手配・施工図作成	0	10	30	40	50	60	80	90	100	100			
3. ダクト工事	0	0	5	10	30	50	70	90	100	100			
4. 配管工事	0	2	5	8	10	40	70	90	100	100			
5. 保温工事	0	0	0	0	0	20	50	90	100	100			
6. 機器取付工事	0	0	0	0	20	40	70	80	100	100			50
7. 雑工事	0	0	0	0	0	30	50	70	95	100			
8. 試運転調整	0	0	0	0	0	0	0	0	90	100			
10. 後片付清掃	0	0	0	0	0	0	10	40	80	100			
各月末予定出来高(%)	1	3	7	10	20	40	60	80	95	100			0 (%)
各月末出来高(%)	1	3	7	10	20	40	70	85	95	100			

予定出来高は破線(黒)、出来高は実線(赤)で出来高のグラフを記入してください

工 事 施 工 協 議 簿

課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員	現場代理人	監理技術者又は主任技術者

工事名	旭川市〇〇新築機械設備工事
請負人	〇〇株式会社
作成年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日

	記載者	内 容
指示		1. ピット内は被覆全ネジ，水槽室はSUSとする。 3. ヘアキャッチャー前後にはバルブを設置すること。
承諾		2. OK
協議		1. 暖房配管の吊りについて ピット内は被覆，その他は全ネジでよいか。 2. 大便器はトラップ無しでよいか。 3. ろ過配管について 別紙図面のとおりでよいか。

平成 年 月 日

(あて先) 旭 川 市 長

請負人 住所 旭川市 条 丁目
氏名 株式会社
代表取締役

印

建設廃棄物処理報告書

次のとおり建設廃棄物の処理をしましたので報告します。

工 事 名	新築機械設備工事			
廃 棄 物 名 称	単 位	数 量	処理月日	処 理 場 所
アスファルト塊	kg	2000	H18.3.1	道路(株) 工場
コンクリートくず	kg	500	H18.3.1	センター
廃プラスチック	kg	40	H18.3.7	センター
金属くず	kg	100	H18.3.7	センター
残土	m3	10.5	H18.3.1	組 処分場
添付資料				
マニフェスト A,B-2,D,E 票コピー				
受入票コピー				
施工計画書に記載されている内容と合っているか確認すること(使用運搬車両, 処理施設許可証, 運搬及び処分契約書等の内容を確認)				
備 考				

長期休業期間がある場合に提出
ゴールデンウィーク，盆，正月等

休業期間緊急時連絡簿

工 事 名 新築機械設備工事

期 間 平成 年 月 日から
平成 年 月 日まで

建築主体 会社名 株式会社
住 所 旭川市 条 丁目 -
現場代理人 自宅 -
現場代理人 自宅 -

電気設備 会社名 電気株式会社
住 所 旭川市 条 丁目 -
現場代理人 自宅 -

暖房設備 会社名 設備株式会社
住 所 旭川市 条 丁目 -
現場代理人 自宅 -

衛生設備 会社名 設備工業株式会社
住 所 旭川市 条 丁目 -
現場代理人 自宅 -

作業所巡回日程表

作業所巡回日程表			
12/30	(衛生)	1/4	(電気)
12/31	(建築)	1/5	(衛生)
1/1	(電気)		
1/2	(暖房)		
1/3	(建築)		

一部作成，提出

課長	課長補佐	係長・主査	監督員

製品安全データシート (MSDS) 一覧表

平成〇〇年〇〇月△△日

旭川市長

請負人 住所：旭川市〇条〇丁目
 氏名：〇〇株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇 印

工事名： 旭川市〇〇新築機械設備工事
 工期： 自 平成〇〇年〇〇月〇〇日 至 平成△△年△△月△△日

施工前に提出すること

上記について使用する材料を次のとおり選定したので通知します。

VOC(揮発性有機化合物)対象物質

- ◎ホルムアルデヒド
- ◎トルエン
- ◎キシレン
- ◎パラジクロロベンゼン
- ◎エチルベンゼン
- ◎スチレン
- ◎テトラデカン
- ◎アセトアルデヒド
- ・クロルピリホス
- ・フタル酸ジ-n-ブチル
- ・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
- ・ダイアジノン
- ・フェノブカルブ

塗料，錆止，シール材，接着剤以外の焼付塗装等を施した機器等についても可能な限り，確認すること

◎：測定対象物質

番号	使用材料名	使用目的	使用期間	対象物質
	メーカー	使用箇所		
	納入代理店	施工業者		
1	××一号接着剤	塩ビ用接着剤	H15,3,20～ H15,5,10	無
	××株式会社	ピット内及び天井内配管		
	〇×商会	自社施工		
2	△△シール101	配管用シール剤	H15,2,20～ H15,5,15	有 (トルエン, キシレン)
	(株)△△	ピット内及び機械室内配管		
	〇×商会	自社施工		
3	スセイ●×	水性塗料	H15,3,20～ H15,5,10	F☆☆☆☆
	(株)●×	屋内露出配管部		
	〇×商会	×◇塗装		
4	☆☆プライマー	蒸気配管用錆止塗料	H15,3,20～ H15,5,10	有 (トルエン)
	株式会社☆☆	蒸気配管部		
	〇×商会	×◇塗装		
5	ニュー▽▽	目止め剤	H15,3,20～ H15,5,10	無
	(株)▽▽	屋内露出配管部		
	〇×商会	×◇塗装		
6	◇コート錆止め塗料	錆止塗料	工場製作品のため不明	有 (エチルベンゼン, キシレン)
	◇◇ペイント	プルボックス(ピット内)		
	商店××〇	〇△◇◇		
7	鋳鉄製パネルヒーター	仕上げ塗装(焼き付け)	工場製作品のため不明	有 (エチルベンゼン, キシレン, ホルムアルデヒド)
	(株)〇〇☆☆暖房	1階各教室		
	商店××〇	(株)〇〇☆☆暖房		
				F のものは、「無」としない

- ※ 塗料,錆止め,目止め,シール剤,接着剤等のMSDSが入手できるものは必ず提出すること
- ※ カタログ・MSDSを添付すること(番号別にインデックス等で整理し, ファイルにまとめる)
- ※ 使用場所をわかりやすくするために, 図面等に色付けを行って添付するなどを検討すること
- ※ 測定対象物質がある場合は, 別表にVOC対策をまとめて一覧表にして添付すること
- ※ 使用期間とは, 実際に塗装を行う期間を示す
- ※ 施工計画書と同時期に提出すること
- ※ 表中の対象物質とは上記13物質を示す

MSDS一覧表において対象物質「有」としたものについて記入すること
 できるだけメーカーの見解書等も添付すること

VOC対策一覧表

工事名：旭川市〇〇新築機械設備工事

工期：自平成〇〇年〇〇月〇〇日 至 平成△△年△△月△△日

番号	使用材料名	使用目的	使用期間	対象物質
	メーカー	使用箇所		
	納入代理店	施工業者		
2	△△シール101	配管用シール剤	H15,2,20～ H15,5,15	有 (トルエン, キシレン)
	(株)△△	ピット内及び機械室内配管		
	〇×商会	自社施工		
対策方法 シール剤使用時は、換気に十分注意して行い。施工時に出来るだけ拡散を行う。 ベークアウト期間(H15,6,10～H15,7,10)に一定温度保持(35℃)と換気を徹底して行い、測定物質を拡散させる。				
4	☆☆プライマー	蒸気配管用錆止塗料	H15,3,20～ H15,5,10	有 (トルエン)
	株式会社☆☆	蒸気配管部		
	〇×商会	×◇塗装		
対策方法 配管前に現場以外で錆止塗装し、十分に測定物質を拡散させてから(48時間以上拡散させる)配管を行い、現場での錆止塗装を最小限に抑える。 ベークアウト期間(H15,6,10～H15,7,10)に一定温度保持(35℃)と換気を徹底して行い、かつ蒸気を通して測定物質を拡散させる。				
6	◇コート錆止め塗料	錆止塗料	工場製作品のため不明	有 (エチルベンゼン, キシレン)
	◇◇ペイント	ブルボックス(ピット内)		
	商店××〇	〇△◇◇		
対策方法 工場製作品のため塗装日不明、出来る限り早く取り寄せ、測定物質を拡散のさせる。 また、ピット内のみ設置であるため居室への拡散はしない。 ベークアウト期間(H15,6,10～H15,7,10)に一定温度保持(35℃)と換気を徹底して行い、測定物質を拡散させる。				
7	鋳鉄製パネルヒーター	仕上げ塗装(焼き付け)	工場製作品のため不明	有 (エチルベンゼン, キシレン, ホルムアルデヒド)
	(株)〇〇☆☆暖房	1階各教室		
	商店××〇	(株)〇〇☆☆暖房		
対策方法 メーカー工場での焼付塗装のため問題なし(メーカー見解を添付)				

部分使用がある場合に提出
契約課より依頼文書送付後

承 諾 書

工 事 名 旭川市 新築機械設備工事

平成 年 月 日付で依頼のあった上記建設工事に係る部分使用については
これを承諾します。

平成 年 月 日

(あて先) 旭川市長

請負人 住所 旭川市 条 丁目

氏名 株式会社
代表取締役

印

該当部分にチェック
すること

- 既成出来形部分等
- 一時中止に伴う出来形部分等
- 部分引渡しに伴う出来形部分等
- 部分使用に伴う確認

検査願

工事名 旭川市〇〇新築機械設備工事

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 旭川市長

提出日については記入しない

請負人 住所 旭川市〇条〇丁目

氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 印

	課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員
主管課				

しゅん功届

工事名 旭川市〇〇新築機械設備工事	
着手年月日 平成年〇〇年〇〇月〇〇日	しゅん功年月日 記入しない 平成〇〇年〇〇月〇〇日

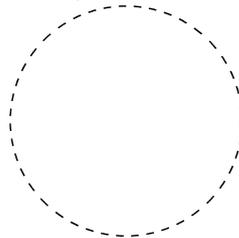
上記のとおり工事が完了したのでお届けします。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

記入しない

(あて先) 旭川市長

受理



請負人 住所 旭川市〇条〇丁目

氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 印

主管課	課長	課長補佐	係長	工事監督員

社内検査の要領及び検査内容等については、別紙「建築工事関係書類作成の手引き」の「3 工事検査時の書類」の「社内検査実施要領」によること

添付する写真については、施工計画書において選出した検査員が確認できるものとする

課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員

社内検査実施結果報告書

平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

しゅん功日とすること
監督員に確認

(あて先) 旭川市長

(請負人) 住所 旭川市〇条〇丁目

氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

印

代表者印

工事名 旭川市〇〇新築機械設備工事

工期 平成〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇〇年〇〇月〇〇日

契約工期を記入

上記工事の□部分検査に先立ち社内検査を実施しましたので、その結果について

しゅん功検査

別紙のとおり報告します。

社内検査を実施した日付を記入

社内検査実施日 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

検査員 会社名 〇〇株式会社

社内検査員の個人印

役職 氏名 工事部長 〇〇〇〇 印

施工計画書において指名した検査員

※ 社内検査状況写真を添付してください。
□の該当項目はレ印を記入してください。

他工事との関係、冬期の施工等において、工事しゅん功後に手直しが必要な場合は、この様式にて提出する
内容、提出にあたっては監督員と協議すること

課長	課長補佐	係長・主査	工事監督員

念 書

平成 ○○年 ○○月 ○○日

しゅん功日を記入

(あて先) 旭川市長

請負人 住所 旭川市○条○丁目

氏名 ○○株式会社
代表取締役 ○○ ○○ ㊟

工事名 旭川市○○新築機械設備工事

下記は一般的文章なので、内容等については事前に監督員に確認すること

上記工事、平成 ○○年 ○○月 ○○日しゅん功しましたが、冬期の施工でしたので、次の事項につきましては、融雪後に完全に手直しします。

記

- 1 外部埋め戻し部分の補修，整地
- 2 地中埋設票の高さ調整
- 3 冷房試運転調整

念書事項が完了した後に提出
合わせて内容が確認できる写真，図面等を
添付すること

課長	課長補佐	係長・主査	係

念書工事完了報告書

平成 ○○年 ○○月 ○○日

念書事項が完了した後の提出日

(あて先) 旭川市長

請負人 住所 旭川市○条○丁目

氏名 ○○株式会社
代表取締役 ○○ ○○ 印

次の念書工事が完了したことを報告します。

工事名 旭川市○○新築機械設備工事

念書事項

- 1 外部埋め戻し部分の補修，整地
- 2 地中埋設票の高さ調整
- 3 冷房試運転調整

※ 写真（施工前・中・完了）を添付すること。

請 求 書

平成 年 月 日

(あて先) 旭川市長

記入しない

住所 旭川市 条 丁目

氏名 株式会社

代表取締役

㊟

次のとおり請求します。

請求額は記入しない

請求額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

(金額の欄に¥を記入)

請求内容

旭川市 新築機械設備工事代金として

内訳

(単位:円)

品名	規格	単位	数量	単価	金額
記入しない					
(小計)					
(税額)					
(合計)					

振込先

金融機関名・支店名	口座番号	口座名義
銀行 本店 信金 支店 農協	普通 当座 0 0 0 0 0 0 0	株式会社

(口座名義欄は、請求者と異なる場合のみ記入し、この場合委任状を添付)

請求番号

ア サ ヒ カ ワ シ

(左詰め)

請求番号は、特に必要な場合に記入してください。

(6文字以内で数字、アルファベット、カタカナ(濁点・半濁点は一文字)のみ使用できます。)

口座振込による場合、預金通帳には支出担当課名が印字されます。

請求番号を使用すると支出担当課名の代わりに請求番号が印字されます。

工事において高度技術，創意工夫等を行った内容について記入
説明図，写真等を添付すること
工事しゅん功前に提出すること

別紙 3

高度技術・創意工夫に関する実施状況

工 事 名	旭川市 新築機械設備工事			1 / 1
項 目	創意工夫	評 価 内 容	施工関係	
提 案 内 容	系統の仮設配管の実施			
(説 明) 当該施設は 処理を24時間連続にて行っており，処理を止めることによって，その運転再開時に多大な手間と時間を要することから，別図のとおり仮設配管を行い，施設運転停止期間を最小限に抑え，施工を行った。				
(添 付 図) 別紙図面参照				

説明資料は簡潔に作成するものとし，必要に応じて別葉とする。

前記様式の該当項目にチェックをつけて合わせて提出する

別記様式

高度技術・創意工夫に関する実施状況

工事名	旭川市 新築機械設備工事		請負者名	株式会社
項目	評価内容	備考		
高度技術 工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力	施工規模			
	構造物固有	<ul style="list-style-type: none"> 対象構造物の耐震レベル 既設構造物の補強，特殊な撤去工事 		
	技術固有	<ul style="list-style-type: none"> 工種及び工法の特異性 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 		
	自然・地盤条件	<ul style="list-style-type: none"> 湧水，地下水の影響 軟弱地盤，支持地盤の状況 気象現象の影響 地滑り，河川，潮流等の影響又は動植物等への配慮 		
	周辺環境等，社会条件	<ul style="list-style-type: none"> 埋設物等の地中内の作業障害物 鉄道・共用中の道路・建築物等の近接物 騒音・震動・水質汚濁に対する配慮 作業スペースの制約，現道上の交通規則 騒音・震動・水質汚濁以外の環境対策，廃棄物処理 		
	現場での対応	<ul style="list-style-type: none"> 災害等での臨機の処理 施工状況（条件）の変化への対応 		
	その他			
<input checked="" type="checkbox"/> 創意工夫 「高度技術」で評価するほどでない軽微な工夫	準備・後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査方法の工夫 		
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工関係	<ul style="list-style-type: none"> 施工に伴う機械，器具，工具，装置類の工夫 建設副産物及び廃棄物の減少の工夫，リサイクルに対する積極的な取り組み 施工方法の工夫 電気工事等の配線，配管等の工夫 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類等の工夫 仮設工事の工夫 施工管理及び品質向上等の工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 改修工事における仮設施工の工夫 		
	品質関係	<ul style="list-style-type: none"> 躯体工事の品質管理の工夫 材料，施工の検査試験に関する工夫 品質記録方法の工夫 		
	安全衛生関係	<ul style="list-style-type: none"> 安全施設・仮設備の工夫 安全教育・講習会・パトロール等に関する工夫 作業環境改善の工夫 交通事故防止の工夫 		
	施工管理関係	<ul style="list-style-type: none"> 出来形管理等に関する工夫 施工計画書及び写真記録等に関する工夫 出来形，品質との計測関係等の工夫及び集計，管理図の工夫 		
	その他			

1. 該当する項目の にレマーク記入。

2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

工事しゅん功までに作成し提出する
本書類は引渡し時に施設管理者に提出する

平成 年度

工事関係書類

重要書類（永年保存）

この書類は、この建物が現存する間必要ですので、別冊の工事完成図等
と共に分かり易いところに大切に保管しておいて下さい。

旭川市都市建築部設備課

引継書類及び備品調書

工事名 旭川市 新築電気設備工事

請負人 住所 旭川市 条 丁目
氏名 株式会社
代表取締役

1. 引継書類

- | | | | | |
|-----------------|-------|---|-------|---|
| 1) 完成図・施工図(合本) | A 2 版 | 部 | A 3 版 | 部 |
| 2) 諸官庁届出書類 | 各 1 部 | | | |
| ・消防用設備等検査済書 | | | | |
| ・消防設備設置届出書 | | | | |
| ・道路占用許可申請書 | | | | |
| ・電気使用申込書 | | | | |
| ・しゅん功調査票 | | | | |
| ・自営端末設備接続請求書 | | | | |
| 3) 試験成績書 | 各 1 部 | | | |
| ・高圧関係絶縁抵抗測定表 | | | | |
| ・絶縁耐力試験表 | | | | |
| ・低圧絶縁抵抗測定表 | | | | |
| ・接地抵抗測定表 | | | | |
| ・照度測定表 | | | | |
| ・テレビ電界強度測定表 | | | | |
| ・機器の試験成績表 | | | | |
| 4) 電気設備管理の手引き | 1 部 | | | |
| 5) 機器保証書 | 各 1 部 | | | |
| ・増幅器 | | | | |
| ・マイクロホン | | | | |
| 6) 機器完成図 | 各 1 部 | | | |

各書類の部数、付属品・予備品等の個数については必ず明記すること

機器保証書の日付は検定・引継日とし、保証期間は1年間以上とする

2. 付属品、備品及び予備品

- | | | | | |
|---------------------|--|-------|--|--|
| 1) 付属品 | | | | |
| ・キュービクル用鍵 | | 1 個 | | |
| ・電灯盤、動力盤、端子盤用鍵 | | 1 個 | | |
| ・ハンドホール用取手 | | 1 組 | | |
| 2) 備品 | | | | |
| ・ワイヤレスマイクロホン(タイピン形) | | 1 本 | | |
| ・ワイヤレスマイクロホン(ハンド形) | | 1 本 | | |
| ・マイクスタンド | | 1 本 | | |
| 3) 予備品 | | | | |
| ・電力用ヒューズ | | 各 1 本 | | |
| ・蛍光管 30W | | 1 本 | | |

引継書類及び備品調書

工事名 旭川市〇〇新築設備設備工事

請負人 住所 旭川市〇条〇丁目
 氏名 〇〇株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇

1. 引継書類

- | | | | | | |
|----|---|-------|---------------------------------|-------|---|
| 1) | 完成図・施工図（合本） | A 2 版 | 部 | A 3 版 | 部 |
| 2) | 諸官庁届出書類
・道路占用許可申請書
・給水・排水設備工事申込書
・消防用設備等設置届出書 | 各 1 部 | 各書類の部数，付属品・予備品等の個数については必ず明記すること | | |
| 3) | 検査結果書類
・道路占用許可書
・給排水設備工事検査承認通知書
・給排水設備検査証明書
・消防用設備等検査済書 | 各 1 部 | | | |
| 4) | 機器性能試験成績書
・水圧及び気密試験書
・洗浄業務報告書
・機器性能試験成績報告書 | 各 1 部 | | | |
| 5) | 衛生設備管理の手引き | 1 部 | | | |
| 6) | 機器取扱い説明書
・給水ポンプユニット
・ラインポンプ | 各 1 部 | ・消火栓ポンプユニット | | |
| 7) | 主要機器メンテナンス代理店
・施工業者
・給水ポンプユニット
・消火栓ポンプユニット
・ラインポンプ | TEL | 担当 | | |
| | | TEL | 担当 | | |
| | | TEL | 担当 | | |
| | | TEL | 担当 | | |
| 8) | 機器完成図
・給水ポンプユニット
・ラインポンプ | 各 1 部 | ・消火栓ポンプユニット | | |
| 9) | 機器保証書
・給水ポンプユニット
・ラインポンプ | 各 1 部 | ・消火栓ポンプユニット | | |

機器保証書の日付は検定・引継日とし，保証期間は1年間以上とする

2. 付属工具及び予備品

- 1) マンホール取手 2 組

引継書類及び備品調書

工事名 旭川市〇〇新築設備設備工事

請負人 住所 旭川市〇条〇丁目
 氏名 〇〇株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇

1. 引継書類

- | | | | | | |
|----|---|-------|---------------------------------|-------|---|
| 1) | 完成図・施工図（合本） | A 2 版 | 部 | A 3 版 | 部 |
| 2) | 諸官庁届出書類
・ばい煙発生施設設置届出書
・危険物貯蔵所設置許可申請書
・危険物貯蔵所完成検査前検査申請書
・危険物貯蔵所完成検査申請書 | 各 1 部 | 各書類の部数，付属品・予備品等の個数については必ず明記すること | | |
| 3) | 検査結果書類
・受理書（ばい煙発生施設）
・完成検査済書（危険物） | 各 1 部 | | | |
| 4) | 機器性能試験成績書
・真空温水機
・パッケージ空調機
・ハンドリングユニット | 各 1 部 | | | |
| 5) | 暖房設備管理の手引き | 1 部 | | | |
| 6) | 機器取扱い説明書
・真空温水機
・ハンドリングユニット | 各 1 部 | | | |
| 7) | 主要機器メンテナンス代理店 | | | | |
| | ・施工業者 | TEL | | 担当 | |
| | ・真空温水機 | TEL | | 担当 | |
| | ・パッケージ空調機 | TEL | | 担当 | |
| | ・ハンドリングユニット | TEL | | 担当 | |
| 8) | 機器完成図
・真空温水機
・ハンドリングユニット | 各 1 部 | | | |
| 9) | 機器保証書
・真空温水機
・ハンドリングユニット | 各 1 部 | 機器保証書の日付は検定・引継日とし，保証期間は1年間以上とする | | |

2. 付属工具及び予備品

- | | | |
|----|----------------|-----|
| 1) | 地下タンクマンホール開閉工具 | 1 組 |
|----|----------------|-----|

設備工事等の場合のかし担保期限は1年間とする

課長	課長補佐	係長・主査	係

かし担保期限による検査報告書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

かし担保期限終了後に検査・点検等を実施し提出

(あて先) 旭川市長

請負人 住所 旭川市〇条〇丁目

氏名 〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇 印

工事名 旭川市〇〇新築機械設備 工事

上記の工事は、平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日に引渡し（しゅん功検査）をしましたが、引渡し日より1年間のかし担保期間の終了に伴う検査を行いましたので報告します。

なお、検査項目については別紙のとおりです。

かし担保期限終了に伴う検査については現場代理人でよい

かし担保期限終了に伴う検査項目チェックリスト及び検査状況の写真を添付すること

実施内容等については、別紙「建築工事関係書類作成の手引き」の「5かし担保関係の書類」の「かし担保期限による検査要領」によること

契約締結後1ヶ月以内(工期が1ヶ月以内の場合はしゅん功前)までに契約課工事担当に提出すること

平成 年 月 日

建設業退職金共済掛金収納届

工事名	旭川市 新築機械設備工事
契約日	平成 年 月 日
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

- ✓ 建設業退職金掛金収納書 ----- 収納書添付のこと。
中小企業退職金共済組合加入証明書(写) --- (写)添付のこと。
未購入・未加入 ----- 添付欄にその理由を記載すること。
欄にレをし、必要書類添付のこと。

(あて先) 旭川市長

請負人 住所 旭川市 条 丁目
氏名 株式会社
代表者 代表取締役



添付欄

掛金収納書・共済組合加入証明書(写)をここにのり付けすること。

未購入・未加入の場合その理由

「未購入・未加入理由書」

必要契約関係書類の一つとして、契約締結後1か月以内(工期が1か月以内の場合はしゅん工前)までに契約課工事担当に提出のこと。

建 退 共 等 加 入 状 況 一 覧 表

工事名 旭川市 新築機械設備工事

元請負人 株式会社

元請負人

元請負人の名称	工事内容	建 退 共 等 加 入 状 況
株式会社	機械設備工事	・ 建退共 ・ <u>中退共</u> ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入

下請負人

下請負人の名称	工事内容	建 退 共 等 加 入 状 況
設備株式会社	配管工事	・ <u>建退共</u> ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
保温株式会社	保温工事	・ 建退共 ・ <u>中退共</u> ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入

再下請負人

再下請負人の名称	工事内容	建 退 共 等 加 入 状 況
工業株式会社	保温工事	・ 建退共 ・ <u>中退共</u> ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入
		・ 建退共 ・ 中退共 ・ 他制度() ・ 未加入

「建退共」共済証紙購入及び配布状況一覧表

工 事 名	旭川市 新築機械設備工事			
請負業者名	株式会社			
工 期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
請 負 金 額	(A)	00,000,000円		
請負金額に対する購入枚数	購入金額 (B)	116,250 円		
	1 日 券 (C)	5 枚		
	1 0 日 券 (D)	37 枚		
以前に受注した工事での残枚数 及び換算金額	1 日 券 (E)	5枚	単価 310円	枚×単価 1,550円
	1 0 日 券 (F)	5枚	単価 3,100円	単価 15,500円
買い足し分購入枚数	購入金額 (G)	38,750 円		
	1 日 券 (H)	5 枚		
	1 0 日 券 (I)	12 枚		
購入金額合計	(J)	(B)+(E)+(F)+(G) 172,050 円		
請負金額に対する購入割合 (%)	小数第2位までとし3位切捨	(J) ÷ (A)		00 %
今回の工事で必要と予測した 合計枚数	1 日 券 (K)	(S)と同じでも良い		5 枚
	1 0 日 券 (L)	(T)と同じでも良い		44 枚
元請作業員に配布した枚数	1 日 券 (M)	0 枚		
	1 0 日 券 (N)	0 枚		
下請作業員に配布した枚数	1 日 券 (O)	5 枚		
	1 0 日 券 (P)	44 枚		
再下請作業員に配布した枚数	1 日 券 (Q)	0 枚		
	1 0 日 券 (R)	0 枚		
今回作業員に配布した合計枚数	1 日 券 (S)	(M)+(O)+(Q)		5 枚
	1 0 日 券 (T)	(N)+(P)+(R)		44 枚
今回の工事での残枚数	1 日 券 (U)	(C)+(E)+(H)-(S)		10 枚
	1 0 日 券 (V)	(D)+(F)+(I)-(T)		10 枚
建退共等加入状況	建退共加入業者数	1		
	他制度加入業者数	3		
	未加入業者数	0		

「建退共」共済証紙配布状況調査票

「元請用」

様式1

工事名	旭川市 新築機械設備工事				
工事場所	旭川市 条 丁目	工 期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
請負金額	00,000,000 円	請負業者名	株式会社		
共済証紙購入金	116,250 円	1日券	5 枚	10日券	37 枚
不足により買い足した	38,750 円	1日券	5 枚	10日券	12 枚
以前に受注した工事での共済証紙残		1日券	5 枚	10日券	5 枚
元請作業員に配布した共済証紙枚数		1日券	0 枚	10日券	0 枚
下請業者に配布した共済証紙枚数		1日券	5 枚	10日券	44 枚
元請作業員配布者名	配 布 者 住 所		1日券(枚)	10日券(枚)	
合 計 枚 数(元請分)			0 枚	0 枚	
残 枚 数			0 枚	0 枚	

工事しゅん功時に監督員に提出すること

「建退共」共済証紙配布状況調査票

「再下請用」

様式3

工事名	旭川市 新築機械設備工事			
工事場所	旭川市 条 丁目	工 期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
請負金額	000,000 円	再下請業者名	工業株式会社	
下請業者から受領した共済証紙枚数	1日券	0枚	10日券	0枚
再下請作業員に配布した共済証紙枚	1日券	0枚	10日券	0枚
再下請作業員配布者	配 布 者 住 所	1日券(枚)		10日券(枚)
合 計 枚 数(再下請分)		0枚	0枚	
残 枚 数		0枚	0枚	

引継機器一覧表

工事しゅん功時に監督員に提出すること
合わせてデータも提出すること

平成 年 月 日

旭川市長殿

請負人 住所 旭川市 条 丁目 番地の

工事名: 小学校機械設備改修設備工事

設備株式会社

工期: 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

氏名 代表取締役

施設名称: 小学校

基本的に製造番号はそれぞれ違うので数量は1を記入する。

社印は必要なし。

設置場所	機器名称		仕様・能力	数量	メーカー	型式	製造番号		
	大分類	小分類							
ホウ-室	機器;ポンプ	直結給水用ポンプ	ハツシ型、吸込・吐出口50A、0.25m ³ /min×20m、自動交互運転、本体ステンレス鋼物製、3 × 200v × 2.2kw	1	(株)川本製作所	KDP2-50A2.2A	67808958	2006年6月	
ホウ-室	機器;ポンプ	加圧給水ポンプユニット	吸込口径40A、吐出口100A、0.52m ³ /min×35m、3台0-1リ-式、自動交互運転、本体SUS鋼物製、3 × 200v × 2.2kw × 3	1	(株)川本製作所	KF2-40T2.2	67808953S	2006年7月	
児童便所1男	衛生器具;衛生陶器類	洋風便器	節水型FV(低リップ仕様)	1	東陶機器(株)	C-426-TV750C		2006年7月	
調理室	その他換気	有圧換気扇	風量960m ³ /h	1	三菱電機住環境システム(株)	EFC-25MSA		2006年8月	
技術教室(木工)左	その他換気	FF式ガス暖房機	暖房能力9.30kw	1	リナイ(株)	RHFS-1004F	000200	2006年8月	
技術教室(木工)右	その他換気	FF式ガス暖房機	暖房能力9.30kw	1	リナイ(株)	RHFS-1004F	000162	2006年7月	
事務室	その他換気	天井埋込換気扇	150 , 250m ³ /h,消費電力22W	1	三菱電機(株)	VD-18ZC6	6H02A5	2006年8月	
女子更衣室	その他換気	天井埋込換気扇	150 , 250m ³ /h,消費電力22W	1	三菱電機(株)	VD-18ZC6	6H03A5	2006年8月	

プルダウンリストより選択する。

シート内は、半角で記入すること。フォントや罫線は変更しないこと。

事故の内容、重傷、軽傷等にかかわらず、事故発生後は必要な措置を行い、緊急連絡体制に基づき、監督員に連絡するその後、監督員と協議し、本様式を提出する

平成 年 月 日

(あて先) 旭川市長

請負人 住所 旭川市 条 丁目
氏名 株式会社
代表取締役 印

労災事故等の発生について(報告)

このことについて、次のとおり報告いたします。

状況、内容、場所等がわかるように写真、図面等を添付すること

1 工事名 旭川市 新築機械設備工事

2 工期 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

3 請負金額 00,000,000円

4 事故等の概要

換気設備設置に伴う天井ダクト敷設工事を行っていたところ、作業員(1名)が脚立足場より、コンクリートの床面に落下した。

5 事故等の発生日 平成 年 月 日 時 分

6 事故等の発生場所 旭川市 条 丁目
上記工事現場内1F 室

7 被災者の住所・氏名・年齢・職業及び所属

旭川市 条 丁目
(歳)
株式会社 課

8 被災状況（診断内容）

左上腕部骨折

9 工事関係者等（現場代理人・主任技術者・下請負業者）

現場代理人 株式会社
主任技術者 同上
下請負業者 株式会社

10 事故等の発生状況及び原因

多数の工種が狭隘な室内の作業を同時に行っていたところ、塗装作業を行っていた作業員（塗装株式会社）が脚立足馬上でダクト布設作業を行っていた被災者の脚立に衝突し、その反動で被災者が落下した。

11 事故等に対してとった措置及び経過

付近にいた作業員（設備株式会社）が声をかけ、意識の有無と傷害箇所を確認し、携帯電話にて救急車に連絡し、合わせて現場事務所（現場代理人）にて連絡した。
その後、現場代理人から監督員に電話連絡を行った。

12 事故等に対する改善措置

高所作業を行う足場を枠組み足場により行うものとし、足場廻りに注意喚起を行うための表示を掲げる。

また、毎日の作業ミーティングにおいて他工事の状況を図面等を用いて、より細かく指示を行い、各職長を通じて作業員一人一人に内容を熟知させる。

（注）1 請負人が報告すべき労災事故等は、次の各号に該当するものです。

- （1） 工事現場に災害その他異常な事態が発生したとき。
- （2） 労働安全衛生規則第97条に規定する労働者死傷病報告を提出すべきものうち、休業の日数が4日以上となる見込みの労災事故。
- （3） 公衆に死亡又は負傷者を生じさせた事故。
- （4） 工事関係車両による社会的影響があると認められる交通事故等。

2 報告書に添付すべき書類は、次のとおりです。

- （1） 労働者死傷病報告（写）
- （2） 死亡診断書又は診断書
- （3） 事故現場の見取図及び状況図
- （4） その他参考となる図書、写真等